



公明党
三上 裕久
議員

市長が掲げる「刷新」の達成度について

質問 市長就任時に掲げた改革である「刷新」は、この3年間でどの程度達成できたと考えているのか伺う。

答弁 いくつかの課題となっていた事業を動かしてきましたし、職員に対しても前例踏襲ではなく、市民の視点に立つことを訴えてきました。その意識が職員に根づいてきたと思っています。

副市長二人制の効果について

質問 副市長二人制は、市政運営においてどの程度の効果をもたらしたのか伺う。

答弁 行政経験の豊富な吉井副市長と多様な人脈を有する鈴木副市長の総合力による新たな発想でまちづくりができたと思っています。

臨時福祉給付金の支給について

質問 4月からの消費税率引き上

げに伴い、影響の大きい家庭への負担軽減策である臨時福祉給付金の速やかな支給について伺う。

答弁 6月中旬以降に課税状況が確定されるため、それ以降の支給になりますが、速やかに支給できるように準備を進めていきます。

地域産業の振興について

質問 地元企業への事業拡大のための支援策は、具体的にどのようなものか伺う。

答弁 従来からある支援制度の活用のほかに、首都圏企業と地元企業とのマッチングの場を設けるなど、新たなビジネスチャンスの情報を提供していきます。

質問 事業者が活用できる地域資源とは具体的にどのようなものか伺う。

答弁 米を中心とした農畜産物や太陽光発電・風力発電などの再生可能エネルギーをはじめ、有形・無形の地域資源を活用していただきたいと思っています。

住み替え支援事業について

質問 住み替え支援事業で高齢者が子育て世代へ家を賃貸すること

への不安解消について伺う。

答弁 持家の資産運用効果等の説明を十分に行い、不安解消に努めていきます。

高齢者の見守り支援対策について

質問 孤立死が後を絶たない中、人感センサーの普及促進を図るべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 各団体と連携し、普及促進を図っていきます。

地域防災力の向上について

質問 防災関係機関と地域町内会との協力体制構築について伺う。

答弁 これまでの防災出前講座や地域防災スクールの実施、防災総合訓練を通して、さらなる協力体制を構築していきます。

質問 防災備蓄品の市内避難所への分散配備の見解を伺う。

答弁 まだ目標数量には達していませんが、今後とも市内避難所への分散配備を進めていきます。

東京オリンピック・パラリンピック等の合宿誘致について

質問 施設整備は、厳しい財政状

況の中でも市民理解を得るよう努めるべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 国・北海道の関連部署との連携により、施設整備などへの財政的支援や合宿を受け入れることでのスポーツ振興などの情報を収集し、条件整備を進めていきます。

いじめの根絶について

質問 「滝川市子どもいじめの防止等に関する条例」の制定で、いじめの根絶が可能と考えるか伺う。

答弁 いじめ根絶に向けた取り組みを行わなければならないとの宣言を条例に盛り込んでいます。いじめの芽は、どの子どもにも生じるものとの緊張感を持って、学校・家庭・地域社会が早期に見つけることで、いじめを根絶できると考えています。

登下校時の見守りについて

質問 児童へのICタグの配布をさらに拡大すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 4年生以上へのサービス拡大を、財政状況を勘案しながら検討していきます。